特定粉じん排出等作業完了報告書

　　年　　月　　日

北九州市長　　　　　　　　　　様

住所

届出者　氏名

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

大気汚染防止法第18条の17第1項（第2項）の規定により届出を行った特定粉じん排出等作業について、作業が完了したので、北九州市公害防止条例第20条の2の規定により、次のとおり報告します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業実施届出日 | | 年　　　月　　　日 | | | | | | |
| 届出対象特定工事  の場所 | | （工事場所）  （工事名称） | | | | | | |
| 作業の概要 | 元請業者  又は  自主施工者 | （事業者名）  （現場責任者）  （電話番号） | | | | 下請負人 | （事業者名）  （現場責任者）  （電話番号） | |
| 作業の種類 | の項 | | １の項：解体（掻き落とし等による事前除去）、２の項：解体（掻き落とし等以外による事前除去）、 ５の項：解体（倒壊の危険等により事前除去なし）、６の項：改造・補修（除去・囲い込み・封じ込め） | | | | |
| 特定粉じん排出等作業  実施期間 | | | 自　　　　　年　　　月　　　日　～　至　　　　　年　　　月　　　日  除去等開始日：　　　月　　　日、　作業場の隔離解除日：　　　月　　　日 | | | | |
| 特定建築材料の種類 | | |  | １：吹付け石綿、２：石綿含有断熱材、３：石綿含有保温材、４：石綿含有耐火被覆材 | | | |
| 建築物等の概要 | | | 建築物（耐火・準耐火・その他）延べ面積　　　　ｍ２（　　　階建） | | | | その他工作物 |
| 特定建築材料の  使用箇所 | | | ※作業区域の名称及び使用面積を記入。例：○○室、△△㎡ | | | | |
| 使用面積の合計　　　　　㎡ | | | | |
| 特別管理産業廃棄物の処分の状況 | | | 特別管理産業廃棄物管理責任者 | | | （事業者名）  （氏名） | | |
| 特別管理産業廃棄物収集運搬業者 | | |  | | |
| 特別管理産業廃棄物処分業者 | | |  | | |
| 特別管理産業廃棄物処分量（m3又はt） | | |  | | |

（２枚目に続く）

**作業実施の状況等**

（記入要領）

　１　下表の「適否」の欄は適又は否の該当する方に○を付すこと。ただし、確認事項の作業基準等が適用されないものについては、「適・否」を二重線で消すこと。

　２　下表の「内容」の欄は下線部を記入すること。

　３　下表の「添付資料」の欄に記載の書類を準備し、（チェックボックス）に✓（チェック）を入れること。なお、写真とあるものは、確認事項の実施状況が分かる写真を添付すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認事項 | 適否 | 内容 | 添付資料 |
| ■作業実施の状況 |  |  |  |
| 事前調査結果及び作業内容等の掲示板を公衆の見やすい場所に設置したか。 | 適・否 |  | 写真 |
| 作業場を他の場所から隔離し、作業場の出入口に前室を設置したか。 | 適・否 |  | 写真 |
| 作業場及び前室を負圧に保ち、HEPAフィルタを付けた集じん・排気装置を使用したか。また、負圧の状況及び集じん・排気装置の正常な稼働を適切なタイミングで確認したか。 | 適・否 | 【負圧の状況の確認】  （確認の方法）  作業室  （例：目視、マイクロマノメーターでの確認など）  前室  （例：マイクロマノメーターでの確認、  スモークテスターでの確認など）  （確認者）事業者名：  　　　　　氏名：  ※確認年月日及び確認結果の記録表を添付すること。  【集じん・排気装置の正常な稼働の確認】  （確認の方法）例：デジタル粉じん計での確認など    （確認者）事業者名：  　　　　　氏名：  ※確認年月日及び確認結果の記録表を添付すること。 | 写真  記録表  （負圧の状況）  記録表  （集じん・排気装置の正常な稼働） |
| 除去する特定建築材料を薬液等により湿潤化したか。 | 適・否 |  | 写真 |

（３枚目に続く）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 確認事項 | 適否 | 内容 | 添付資料 |
| ■作業実施の状況 |  |  |  |
| 除去等が完了したこと（特定建築材料の取り残しがないこと等）の確認を必要な知識を有する者が行なったか。 | 適・否 | （確認年月日）　　　　　年　　　月　　　日  （確認者）事業者名：  　　　　　氏名：  ※確認者の該当するものをあいで囲うこと。  ①石綿作業主任者  ②建築物石綿含有建材調査者  ③一般社団法人日本アスベスト調査診断協会の登録者  　※上記の証明書類の写しを添付すること。  　　　　証明書類  ・①又は②に該当する場合は、講習実施機関から  発行された講習修了証  　　　　・③に該当する場合は、当該協会から発行された登録証 | 写真  必要な知識を有する証明書類の写し |
| 特定建築材料の除去後、作業場の隔離を解くに当たり、飛散抑制剤等を散布するとともに作業場内の清掃その他の特定粉じんの処理を行ったか。 | 適・否 | （確認年月日）　　　　　年　　　月　　　日  （確認者）事業者名：  　　　　　氏名： | 写真 |
| 特定粉じんが大気中へ排出され、又は飛散するおそれがないことを確認したか。 | 適・否 | （確認年月日）　　　　　年　　　月　　　日  （確認の方法）例：位相差顕微鏡法による総繊維数濃度の測定など  ※作業前、作業中に石綿濃度測定等を行った場合は、その結果も添付すること    （確認者）事業者名：  　　　　　氏名： | 確認結果が分かるもの |
| ■廃棄物処分の状況 |  |  |  |
| 耐水性の材料で二重梱包する等、飛散防止のために必要な措置を講じたか。 | 適・否 |  | 写真 |
| 特別管理産業廃棄物を運搬するまでの間、特別管理産業廃棄物管理責任者の管理の下、適切な場所に保管したか。 | 適・否 |  | 写真 |
| 特別管理産業廃棄物を廃棄物処理法に基づき適切に運搬及び処分したか。 | 適・否 |  | 写真  産業廃棄物管理票（マニフェスト）のD票又はE票の写し |

（終わり）